

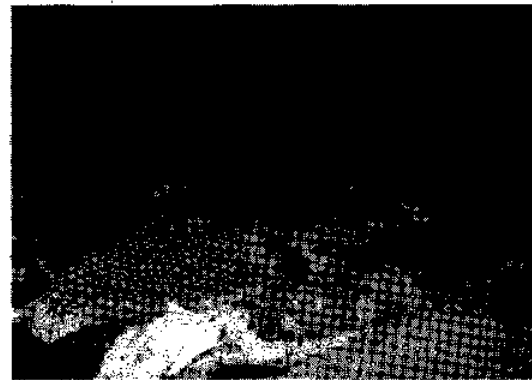
# ある日の夜間パトロール

重野了子

午後十時二十分。そと子どもたちの寝息をうかがい、身仕度を整える。厚いタイツの上にズボンをはき、フイダのついたジャンパーを着て、手袋をはめる。これで防寒OK。足音をしのばせて家を出て、喜望の家に向う。自転車です。四分程のところだ。お昼ごろ、今年のはじめての小雪が舞ったほどだから、今夜はさすがに冷えそうだが、顔にあたる冷気にいどむようにべダルをふむ。

喜望の家の二階にかけあがるとすでに白い湯気をたてている大なべのスープを、五つのポットに入れる。スープの用意が出来ると、

参加者一同机を囲んで顔を合わせ、責任者がはじめてパトロールに参加する人に説明や注意を伝える。十一時。いよいよ出発。スープ、紙コップ、救急箱、懐中電灯、それにリヤカーに毛布、オーバーなどをのせ、社会医療センター前に向う。センターの玄関前のコンクリートの上に敷かれたフットの中には、すでに百二、三十人の人々が寝ている。カーベットを敷いてあるが、うすいフットで身体もたちまち冷えきってしまっただろう。少しでも体温が逃げ出さないようにじっと寒さにたえていられるのだ。一日の重労働で綿のように疲れた



身体を、冷たいフットに横たえて高いいびきをたてている人もいる。ここで、越冬闘争実行委員会のメンバーと、私たちキリスト教釜ヶ崎越冬委員会のメンバーとが合流して、西と東の二つの班に分かれて、釜ヶ崎一帯をパトロールする。

私はポットをかかえて西側の班に従う。だいたい十人くらいが一行となつて回る。大きな懐中電灯を持ったリーダーが、ガードの隅、駐車している車の下、トラックの荷台、道路わきなどくまなく照らす。道や木の陰にうずくまってい

「こんばんわ。おっちゃん、元気かいな」

もう休んでいるのか、返事が無い。リーダーが入口の板をあけて、もう一度、おっちゃんヨとひかりをあてる。

群となつて回る。大きな懐中電灯を持ったリーダーが、ガードの隅、駐車している車の下、トラックの荷台、道路わきなどくまなく照らす。道や木の陰にうずくまってい

て発見されることがあるからだ。病気で動けない人をリヤカーにのせ、センター前のフットの中に保護する。時には、救急車を呼ぶこともある。

廃品回収をしている人が多い帯では、ダンボールやベニヤ板で一畳くらいの屋根のある囲いを作って、そこに寝ている人が多い。こんなところに人が住んでいるのだらうかと驚くのだが、雨さえ降らなければ、まともに当る寒風から身を避けることが出来る。

「しんどいことない？」

「……………」

「しんどいとき医療センターへいきや。医療券おいていこうな。これもってけば、タダでみてくれるよってな。おっちゃんがしんどいなあとと思ったら、いつでも行ったらいいねん」

「ありがとう」

本人の名前、本籍地など記入して医療券を渡す。この券があれば、医療センターにも行きやすいだろう。おっちゃんは、大事そうに券をふくろの中にした。熱いスープを手渡し、今夜も冷えるから気をつけてね、とそこを立去る。いつものガード下まで来た。たき火を囲んでいつもは七・八人は野宿しているのに、今夜は三人しかいない。たき火のいきおいもな

「おおきに」

「おっちゃん、ドヤとってある？」

「ないです」

かなりお酒が入っているらしくよたよたしている男の人にリーダーが声をかける。

「ほんなら、医療センターへいこ

「医療センター？」

「そや、医療センターの前にフット敷いてあるからな、そこで寝るんや。こんなところふらふらしてたら、あしたの朝、死んでもうよ」

「しんどいことない？」

「……………」

「しんどいとき医療センターへいきや。医療券おいていこうな。これもってけば、タダでみてくれるよってな。おっちゃんがしんどいなあとと思ったら、いつでも行ったらいいねん」

「ありがとう」

本人の名前、本籍地など記入して医療券を渡す。この券があれば、医療センターにも行きやすいだろう。おっちゃんは、大事そうに券をふくろの中にした。熱いスープを手渡し、今夜も冷えるから気をつけてね、とそこを立去る。いつものガード下まで来た。たき火を囲んでいつもは七・八人は野宿しているのに、今夜は三人しかいない。たき火のいきおいもな

「おおきに」

「おっちゃん、ドヤとってある？」

「ないです」

かなりお酒が入っているらしくよたよたしている男の人にリーダーが声をかける。

「ほんなら、医療センターへいこ

「医療センター？」

「そや、医療センターの前にフット敷いてあるからな、そこで寝るんや。こんなところふらふらしてたら、あしたの朝、死んでもうよ」

「あんなら、誰や」

「パトロールしてるんや。いっばい仲間が寝てるし、いっしょにいこうや」

両側からよたよたの背中を軽く押しながら、医療センターに向う。道端にフットを敷いて、頭まですっぽりフットをかぶって寝ている二人。お互いの体温でぬくめ合っているのだろう。

「大丈夫？」

「大丈夫です」

の問いに、二人とも

と顔を出す。せっかく寝ているのに起こしてしまうのではないかと考えたこともあったが、「おっちゃん大丈夫か？」「スープのむか？」「しんどいことないか？」と問いかけることは、越冬パトロールの目的の重要なポイントだと思えてきた。

凍てつくような厳寒の中で、おそらく、他の誰からもそんな声をかけて安否を気づかなくてもえらい労働者たちが、毎晩、その声に

どんなにか安心感をいただくことだろうか。「おおきに」「ありがとう」ということばの中にそんなことを感じるのだ。

午前一時十五分。喜望の家に戻り、リヤカーをかたづけ、スープのポットを洗う。参加者は帰るとかならず手を洗い、うがいをします。釜ヶ崎は開放性の結核患者が多いからである。

今日の青カン者(野宿していた人)一五五人。西、東、各班の報告。気づいたこと、感想など語り合い、記録して今夜のパトロールは終る。

家に帰れば私には暖い部屋もフットも毛布も枕もある。だけど、あの冷い道で寝ている人たちは、凍死と背中合わせの夜を過ごしているのだ。明日は何とか頑張って仕事にいき、せめてドヤのフットに身を横たえることが出来るように、彼らに働く力を与えて下さいと祈りながら底冷えのする帰り道を急いだ。

「あんなら、誰や」

「パトロールしてるんや。いっばい仲間が寝てるし、いっしょにいこうや」

両側からよたよたの背中を軽く押しながら、医療センターに向う。道端にフットを敷いて、頭まですっぽりフットをかぶって寝ている二人。お互いの体温でぬくめ合っているのだろう。

「大丈夫？」

「大丈夫です」

の問いに、二人とも

と顔を出す。せっかく寝ているのに起こしてしまうのではないかと考えたこともあったが、「おっちゃん大丈夫か？」「スープのむか？」「しんどいことないか？」と問いかけることは、越冬パトロールの目的の重要なポイントだと思えてきた。

凍てつくような厳寒の中で、おそらく、他の誰からもそんな声をかけて安否を気づかなくてもえらい労働者たちが、毎晩、その声に

どんなにか安心感をいただくことだろうか。「おおきに」「ありがとう」ということばの中にそんなことを感じるのだ。

午前一時十五分。喜望の家に戻り、リヤカーをかたづけ、スープのポットを洗う。参加者は帰るとかならず手を洗い、うがいをします。釜ヶ崎は開放性の結核患者が多いからである。

今日の青カン者(野宿していた人)一五五人。西、東、各班の報告。気づいたこと、感想など語り合い、記録して今夜のパトロールは終る。

家に帰れば私には暖い部屋もフットも毛布も枕もある。だけど、あの冷い道で寝ている人たちは、凍死と背中合わせの夜を過ごしているのだ。明日は何とか頑張って仕事にいき、せめてドヤのフットに身を横たえることが出来るように、彼らに働く力を与えて下さいと祈りながら底冷えのする帰り道を急いだ。

砕け散った背柱を繕い  
意のまま動く下半身をかせせ  
すこやかなりし昨日をかえせ  
愛や情りを自在に表わし  
くつろぎや戦いの列に戻れる身を  
かせせ

椎損傷 椎間板ヘルニア 鞭うち  
交通禍 高所よりの転落  
襲いかかる鋼製現代大爬虫類  
操る奴も潰される奴もこの国の繁  
栄の下敷き  
軽井沢 鎌倉 赤坂の三角点で  
それでやられてみる  
情をこめていたわってやるぜ

矯正の悶苦  
冬の冷えこみ  
雨前の湿気しみ入るとき  
馬車馬同然働かされた日々のこと  
他眼に映つる懊悩を説き  
苦笑うひきつり  
この呻吟の空間は平和と繁栄の軌  
音か

### 俳句

棚橋京子

初鏡いまさら粧す顔もたす  
水仕事それか馴れざる餅の手よ  
川の字の中は猫なり寝正月

島 伸也

初日記禁酒の誓い確と書く  
ペン持てば思ひかなしき虎落笛  
寒燈の真下に冥府のある如し

森田良祐

おもしろし仕事始めが店番か  
負け続く将棋に勝ちて風邪癒える  
焼芋を上品に召している貴婦人

### 短歌

棚橋京子

この町に流れし人はそれぞれの  
辛き過去あり我もおなじや  
冬ざれの野末はうすく夕やけて  
何も思わず付みおし



### ※借入金返済完了

喜望の家が購入されて三年が経  
った。断酒活動をするということ  
から、当初は近隣から理解されな  
い面もあったが、関係者の努力で  
今や釜ヶ崎で市民権を獲得した。  
購入費は、登記料を含めて約三千  
二百〇万円、内二千一〇〇万円  
は銀行、掌風会からの借入金で、  
返済計画は五年間であった。それ  
が、去る一二月に返済が完了した。  
九二年短縮されたことになる。こ  
れには、ストロームさんはじめ各  
方面の並々ならぬ支援があつてこ  
そ、と関係者一同喜んでい  
る。これからは、いよいよ活動内容  
の充実とともに、そのために今後  
共一層の支援が期待されている。

### ※越冬支援中間報告

キリスト教釜ヶ崎越冬委員会は  
一月二十八日(日)午後六時半から  
日本基督教団玉出教会において、  
一二月二五日からこれまで行われ  
てきた越冬支援の中間報告集会を  
開催する。  
釜ヶ崎の現実は、特別公共事業  
の影響で、建設関係などの仕事は  
徐々に出てくるが、逆に青カン者

の数は年々増加している。このこ  
とは、仕事の出来る人とそうでな  
い人の分割化の傾向がハッキリ表  
われてきていることを意味する。  
つまり、真に保障を必要とする病  
弱者、障害者、老人などに対して  
は、釜ヶ崎はまことにきびしい現  
実となっている。

越冬支援の今後の課題は、青カ  
ン者実態調査などによるキメ細か  
な現状把握と同時に、それへの真  
剣な取り組みが焦点となつてこよ  
う。

### ▽炊き出し

合計 七八九六食  
最高 元旦夜 二四三食  
最低 三〇日昼 三七食  
平均 九七、七食  
▽青カン者へ(はフトン保護者)  
合計 五九三六(三九二八)人  
最高 元旦三五四(二四二二)人  
最低 一六日一一四(八四)人

平均 一九八(二四〇)人  
▽救急者 (へは入院者)  
六二回(一九人)  
▽医療券 (へは要入院者)  
二六九枚(四五人)  
▽パトロール参加者  
最高 五〇人  
最低 四人  
平均 一二、八人  
▽カンパ  
約三七〇万円

◎二月末までの越冬支援を全う  
するためカンパ、夜間パトロー  
ルへの参加者を必要としている。

### ※ある母親からの手紙

四年生の男の子ですが、(略)  
「おくれますよ。早く起きなさい」  
から始まって、「それお顔を洗っ  
て、歯をみがきましたか」「ごは  
んですよ」「テレビなんか見てな  
いで」「学校へ行くしたくできま  
したか」「ハンカチは」「気をつ  
けて」「いってらっしゃい」まで。  
毎朝のことです。こんなにしな

### ※今月の経済協力者(敬称略)

い出ていくようには、ならない  
でしょうか。(略)  
へ私からの返事)  
どうですか。一ぺん、一ことも  
言わないようにしては。ほってお  
いたら。もう四年生にもなったの  
ですから。勇気がいりますが、ま  
あ、やってみたらどうですか。  
真の愛情とは突き放すことです。  
そして見守ることです。

小口てつ 山口静 林佳子 山本  
慶次 山中幸子 稲葉謙之輔 笠  
井将江 渋谷洋子 前田昌子 加  
藤貴美枝 柴田正生 安藤主恵  
千田富美子 西山昭三 郡田英三  
原口字平 山田美幸 白百合幼稚  
園 黒川竜介 間瀬啓允 田中義  
宣 太田佐江子 津山よね 牧野  
善臣 浜垣多鶴子 金子治枝 石  
原寛 名嘉匡安 柳原芳枝 福村  
直昭 岡本栄一 山内六郎 河野  
芳子 内海季秋 岡愛子 木村博  
治 ブレイ 久保真一郎 新美玲

### 子 豊中教会婦人会 仲本幸哉

門司教会学校 船津銀子 桑野住  
子 岡崎清子 石川綾子 鈴木芳  
美 村松美那子 才木権親 安藤  
善吉 山下ヤヨコ 石神稔 森田  
良祐 棚橋三郎 大野義定 八尾  
美恵子 小口ちせ子 森小路教会  
近藤善彦 薄田昇 高橋進 寿崎  
純子 河西靖浩 坂倉圭 岩井洋  
子 稲毛貞 後藤忠一 木下蓉子  
横石金男 三好博 田中豊 重野  
良吉 遠五スミ 赤井正二郎 竹  
山美代子 島伸也 栗原茂 小口  
聖三 飯島早苗 伊藤規矩治 松  
阪教会 松隈貞雄 栗岡成人 伊  
藤善康 渡辺初彦 古川悦子 帝  
塚山教会 坪池誠 中野義郎 中  
川晶輝 中川信明 メグミ幼児園  
大滝重俊 常滑教会 増田裕 関  
根洋子 山根フサ 斎藤忍 桃井  
恵子 山梨YMCA 青少年センタ  
ー 喜陽田幸子 平安綾子 橋本  
明洋 酒井清七 石飛雄三  
ご協力ありがとうございます。  
では、お元気で。